



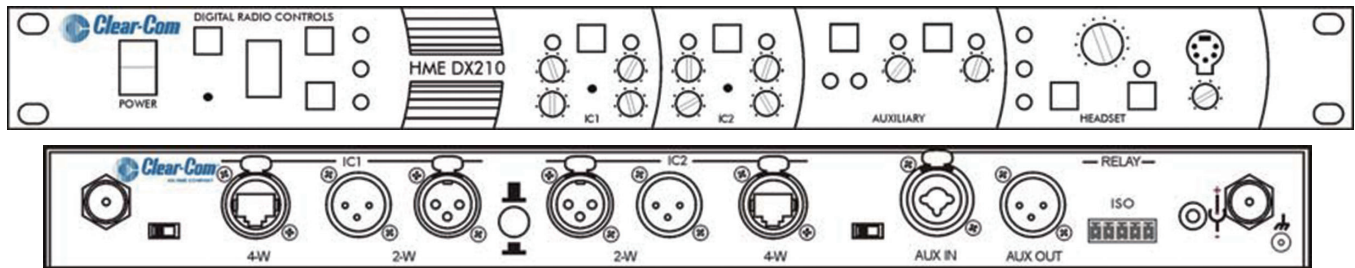
DX シリーズ最新版

HME 2.4GH デジタル・ワイヤレス・インターカム・システム

DX210 シリーズ

ベース・ステーションに BS210 を使用した場合は DX210 シリーズと呼んでいます。

HME Clearcom DX210 シリーズは 2 グループ運用が可能な 2.4GHz デュアル・チャンネル・ワイヤレス・インターカム・システムで、DX100,200 シリーズに対してアップグレード可能なよう慎重にデザインされています。ベルトパック最大 15 個使用可能、同時送信台数 2 グループ運用（デュアル・チャンネル・モード）時は 3 台、1 グループ運用（シングル・チャンネル・モード）時は DX100,200 シリーズ同等の 4 台です。2/4Wire インターフェイスも 2 系統づつ用意されています。2Wire システムで発生しがちなハウリングを防止するため、2Wire ラインが接続されていないときは 2Wire がアクティブにならないようにする 2W 電源検出機能を備えています。また、ディレイの掛かった跳ね返り音声（サイドトーン）を防ぐためのヌル調整を自動で行うオート・ヌル調整など便利な機能を備えています。



BS210 ベース・ステーション

豊富な外部接続オーディオ・インターフェースを備えたベース・ステーションです。(EIA1U ラックサイズ)



BP210 ベルトパック

2 グループ運用が可能なベルトパックです。
BS210 下ではデュアル又はシングル・チャンネル・ベルトパックとして動作します。
BS200,MB100 のマスターステーションにも登録可能で、その場合はシングル・チャンネル・ベルトパックとして動作します。



WH210 ヘッドセット一体型ベルトパック

ヘッドセット一体型のベルトパックで経済的です。ヘッドセットの着脱が素早くできます。機能は BP210 ベルトパックとほぼ同じです。

DX210 シリーズ デジタル・ワイヤレス・インターカムで採用されている周波数ホッピングとは？

アナログ方式のワイヤレス・インターカムでは、ベルトパックの台数 N にベース・ステーションのからの送信周波数分の N+1 波の周波数が必要でした。周波数を無駄に多く使用するので厳しく送信出力が制限されていました。周波数ホッピング方式では多数の周波数を素早く切り替えて通信するため、一部の周波数を占有し続けることがありません。したがって多くのユーザーが同じ周波数帯域を利用することが可能となり、出力の制限が緩和されています。音声をパケットにしてコピーし 2 本のアンテナから時間差を設けて発射するので、多少電波状況が悪くても、強いほうのパケットをひろいあげることが可能です。またパケットが多少連続して欠落していても、送信時にパケットの順序をランダムに入れ替えて送信しているので、受信時にパケットを元の順序に戻すことで、欠落パケットが飛び飛び状態になっており音声の修復が容易におこなえます。そのため、パサツキの少ない安定した通話が通信エリアの限界近くまで得られます。

DX100,200 シリーズの製品群と豊富なオプション群がそのまま継承可能

HME 社のポリシーとして「ユーザーの不利益となるバージョンアップはできる限り行わない」というのがあります。したがって従来機との互換性は最大限に保たれており、DX100,200,210 シリーズの混在使用も可能です。その場合は低機能側のシリーズと同等の機器として動作します。安心して DX210 シリーズへ乗換えすることが可能です。DX100,200 シリーズ用として日米で開発された豊富なオプション群もそのまま引き継いで使用することが可能です。

HME と Clear-Com について

米国 HME 社は 2010 年 4 月に有線インターカム・システムのリーディング・カンパニーである Clear-Com 社を買収しました。ワイヤレス・インターカムのトップを走る HME 社と有線インターカムシステムに実績のある Clear-Com 社の結合は無線 / 有線インターカムのシームレスな統合と相乗的な可能性の拡大が期待されています。

DX210,DX200,DX100 シリーズ機能比較表			
	DX100	DX200	DX210
2.4GHz 周波数ホッピング拡散方式	○	○	○
RF 最大出力	3mW/MHz	3mW/MHz	3mW/MHz
最大使用可能ベルトパック数	15 台	15 台	15 台
2 グループ運用	×	×	○
最大同時 子機送信数 1 グループ運用時	4	4	4
最大同時 子機送信数 2 グループ運用時	—	—	3
Aux In/Out	×	○	○
4-Wire I/O	×	1 系統	2 系統
2-Wire I/O	×	1 系統	2 系統
2-Wire Clearcom/RTS 両対応	—	○	○
2-Wire レベルコントロール	—	×	○
2-Wire ヌル調整	—	手動	自動
2-Wire フィードバック防止機能	—	×	○（電源検出により防止）
ISO 送信	—	○	○
IC オンリー・モード	—	○	1 グループ運用時のみ可能
リッスン・オンリー・モード	×	×	○
ハンズフリー /PTT モード設定	○	○ (IC、ISO に対して一括で可能)	○ (IC1、IC2、ISO それぞれに個別に設定可能)

代表的なオプション

「インカム・システムの信頼性はヘッドセットで決まる」と言っても過言ではないほど、プロの過酷な使用にヘッドセットは耐えなければなりません。HME のヘッドセットは日本製、プロの期待を裏切りません。



SEC TR01HS 片耳密閉型ヘッドセット

イヤー・ピースは高感度片耳密閉型。マイクロフォンはノイズキャンセリング接話型エレクトレット・コンデンサー・マイクを使用しています。密閉型なので意識を集中させやすく、イヤー・ピースの音圧レベルが高いので、かなり騒音の多いところでも使用することが可能です。マイク・ブームをヘッド・バンド近くに跳ね上げると、マイク回路がミュートされます。マイク・ブームは右側にもセットすることができます。



SEC NH1H ネックセット

マイクロフォンは TR01HS と同じマイクを使用したネックセット。ダイナミック型を使用していた従来の M808DHS に比較してマイク感度が高くなっています。TR01HS 等の密閉型ヘッドセットと混在使用してもマイク感度を再調整せずに使用できます。またイヤホンの出力も高く設定されています。ヘルメット着用時にも使用可能です。マイク・ブームは右側にもセットすることができます。



SEC CS1U BS200/210 専用 1U ラック・ケース

BS200/210 背面の垂直アンテナが立つようにケースの奥行きを調整してあります。ケース内部はフェルト貼りで制振性を考慮しました。裏ぶたには AC アダプター用にベルクロ・ストラップが取り付けられています。

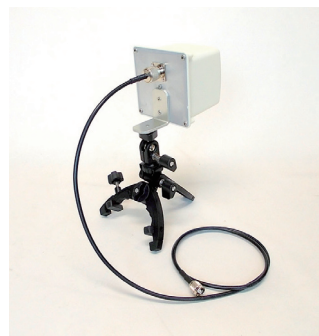


SEC CSP4 キャリング・ケース

BP200 x 4 台、TR01HS x 5 個、AC40A x 1 台、AC アダプター x 2 個が収納可能な標準ケース。



HME AC40A 急速充電器



SEC PA2411

パネルアンテナ
パネルアンテナは水平 / 垂直方向の指向性に変化をつけて設計された指向性アンテナです。PA2411 の半値角は垂直方向で 30 度、水平方向で 60 度です。八木アンテナより水平方向に広い通信エリアを確保することが可能です。三脚とケーブルは別売です。